

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立内部小学校

校長 松岡 佳代

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

内部小学校では、地域とともに歩む学校づくりをめざして、これまで多くの地域の方々、諸団体、保護者の方々に学校のいろいろな活動に参加し協力していただきました。コミュニティスクール（運営協議会）はこれらの団体や諸活動を全体的に捉え、活動内容や今後の方向について協議し、学校と地域、家庭との結びつきをさらに強めていくための提言をしていくことをめざします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

地域と結びついた活動内容

- 1年 昔の遊び（長寿会さんへのお手紙）
- 2年 興農社さんと野菜作り
- 3年 ホタル学習
(内部ホタルの会)
- 4年 剪定作業
(内部っ子はげまし隊)
防災学習(内部地区自主防災協議会)
- 5年 お米の学習(坂正春さん・内部農園)
- 6年 戦争体験を聞く会
(内部っ子はげまし隊)



4～6年 クラブ活動指導

グラウンドゴルフ・楽しい小物づくり・昔の遊び・ニュースポーツ・キッズ消防・茶道・編み物の全7クラブは、内部長寿会・内部婦人会・市社会福祉協議会・総合型地域スポーツクラブうつべ☆スター体育指導委員・地域住民・保護者・内部消防分団のみなさん等のご協力を得て年間5回(今年度は4回)行っています。



見守りボランティア



内部地区三校二園 PTA 連絡協議会・通学路検討委員会では、自治会や地区市民センターとも情報共有し、子どもたちの安全のための対策をしています。

また、通学路の安全確保や登下校指導では、学童見守り隊や PTA・各地区子ども会・住民ボランティアさんの協力を得てい

ます。昨年 12 月から 1 年間「まもってくれてありがとう運動」のモデル校に指定され、地域全体で意識を高めています。

ボランティア団体「おはなし mam. さん」

読書週間には、全学年で「おはなし mam. さん」による本の読み聞かせを年 3 回行っています。また、おすすめ本コーナーを作って本の紹介をしたり、本の修理を行ったり、図書館まつりに渡すしおりを作成したりして、子どもたちがより本に親しめるような活動を続けてもらっています。会員を増やすために、PTA ふれあい委員の方々にも読み聞かせの体験をしていただき、興味を持たれた方には継続して会員になってもらうような働きかけも行っています。今後も様々な活動を模索し、より豊かな実践になるよう努めます。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組みによる効果

今年度はコロナ禍の中、行事（授業参観、校内作品展、持久走記録会、学校保健委員会等）に参加していただき、子どもたちの活動や保護者の様子を参観していただきました。毎年行事と重ねて運営協議会を行っていたため、短時間の意見交流になっていたのですが、今年度は単独で協議会を持つことにしました。その結果以下のようにたくさんのご意見をいただき、全職員で共有するとともに、学校だよりで保護者へも伝えることができました。

- ・今年度から 6 年生に取り入れた教科担任制は中学校に向けていい取り組みであった。先生たちの得意分野が生かされ、子どもたちもいろいろな先生に教えていただき集中力も増したようだ。算数の少人数授業も継続してほしい。
- ・3, 4 年生は 1 クラスほぼ 40 人だが、班での話し合い活動を取り入れたり、タブレットを活用したり、工夫してもらっている様子がよく分かった。子ども同士の触れ合いが学力向上につながるので、今後も意図的に取り入れて欲しい。
- ・コロナの件に関しては教材を用いて人権学習をしっかりといただき、効果的であった。
- ・タブレット学習が進むと、情報モラル面での心配がある。子どもは先生の言うことはよく聞くので、子どもたちには繰り返し伝えて欲しい。
- ・健康教育や食教育についてももしっかり取り組んでもらっている。子どもたちは給食の関心が強く、HP でも子どもの実態がよく分かるのありがたい。
- ・見える学力だけではなく、見えない学力（①人を大切にする力②自分の考えを持つ力③自分を表現する力④チャレンジする力）を伸ばしてほしい。
- ・学級文庫の充実とともに、読書量が増えてきたことは喜ばしい。子どもは古い本は手に取らないので、処分して、どんどん入れ替えを行い、読書環境を充実させてほしい。



- ・あいさつは90%の保護者がよくできると答えている。子どもたちの意識も変わってきている、内部地区全体でも「あいさつ運動」に力を入れて取り組んでいるので、具体的な取り組みを示し、その結果を分析し、手立てを打つ必要がある。大人も含めた地区全体の取り組みに広げていきたい。



- ・「ありがとう」が定着する取り組みを今後も続けて欲しい。

・「まもってくれてありがとう」の指定校となったが、子どもたちはあまり意識していないようである。子どもたちから地域をかえて行くような取り組みを期待したい。まずは横断歩道は手を挙げて、車に渡る意思を知らせるとともに、「ありがとう」を伝えていきたい。

・内部地区は「はげまし隊」や長寿会をはじめ、地域の組織がしっかりしている。各学年とも地域の方々の

お世話になり、内部地区ならではの学習活動として定着している。今後も「学校の応援団」として協力していくので、学校からも依頼してほしい。

- ・毎日ホームページを更新してもらっているので、学校の様子がよく分かる。

今年度の学校保護者アンケートでも、「子どもは元気よく学校へ行きますか」について96%の方が肯定的にとらえていただきました。子どもの姿を通して、保護者の方は学校への信頼感が高まります。特に、コミュニティスクール（運営協議会）が学校と地域、保護者のパイプ役となり、学校運営全体について助言や意見を述べていただくことで、保護者の満足度もさらに高まっています。来年度は内部中学校もコミュニティスクール運営委員会を立ち上げます。今後は内部地区全体で子どもたちを見守れるような仕組みを構築していきたいと考えます。

3 今後に向けて

コミュニティスクール（運営協議会）では、授業参観や学校公開の機会や日常の学校・地域での様子をとらえて、学校教育活動に対するさまざまなご意見やご助言をいただいています。コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みが、地域や家庭にもっと広く理解されていくように情報発信をしていくとともに、学校での教育活動が保護者からさらに高い評価をしてもらえるように下記のことに取り組んでいきたいと思えます。

- ・ コミュニティスクール委員の方々の協力を得ながら、学校ボランティア（書写・音楽・家庭・給食等）を組織し、募集を行っていきます。特に来年度から導入されるタブレットについてサポートできる方を募集していきます。
- ・ 来年度も学校医を招聘し、子どもたちのよりよい成長に向けて、コミュニティスクール（運営協議会）委員と教職員と保護者が一緒になって意見交流を図ります。
- ・ 内部地区全体で子どもたちを育ていけるよう、内部中学校区で連携を取りながらさまざまな行事に取り組んでいきます。来年度は中学校区三校合同運営委員会を行う予定です。

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立内部小学校

委員長 渡邊 勝幸

校長 松岡 佳代

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第1回 運営協議会	中止 令和2年度学校づくりビジョンについては書面議決
5	第2回 運営協議会	運営協議会(29日) おじいさんおばあさんありがとう集会参観(中止) 地域での子どもたちの様子, 意見交換 ・クラブ活動(22日) 中止
6		・3年…ホタル学習(4日) ・お話 mam. さんによる読み聞かせ(15日~19日) ・クラブ活動(19日) ・樹木剪定(内部っ子はげまし隊)(20日)
9		・5年…稲刈り体験(3日) 中止 ・運動会参観(26日)
10		・4年…樹木剪定(内部はげまし隊)(1日) ・お話 mam. さんによる読み聞かせ(5日~9日) ・クラブ活動(9日)
11	第3回 運営協議会	運営協議会(25日) 校内図工展参観及び持久走記録会参観 地域での子どもたちの様子, 意見交換 ・クラブ活動(27日)
12		・6年…戦争体験を聞く会(内部はげまし隊)(17日)
1		・お話 mam. さんによる読み聞かせ(18日~22日) ・クラブ活動(29日)
2	第4回 運営協議会	運営協議会(18日) 授業参観の様子と意見交換 地域での子どもたちの様子, 意見交換 学校保健委員会への参加, 意見交換 ・4年…防災学習(16日)
3	第5回 運営協議会	運営協議会(2日) 学校アンケート結果をもとに本年度の評価 学校や地域での子どもたちの様子, 情報交換 この一年間を振り返って 来年度の方角について ・会計監査(24日)